

別紙様式 1

平成 2 4 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオピエント	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成 1 3 年 7 月 1 日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、四季彩館、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんど施設の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんど利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんど使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんどの管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 22 名   臨時職員 7 名   計 29 名
	正規職員：22名、パート・常勤：4名、パート・非常勤：1名、アルバイト・常勤：2名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	24年度	46,871	54,490	19,464	28,866	54,195	37,889	36,315	34,149	38,575	24,023	21,133	40,599	436,569
	前年度	42,869	58,356	14,906	34,630	52,095	29,245	55,873	35,409	34,964	22,951	13,719	30,820	425,837
	前々年度	37,234	63,629	16,218	29,528	62,858	41,242	40,543	36,634	31,076	33,677	17,587	34,303	444,529

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	24年度	7,736	9,158	3,189	7,468	17,731	5,465	5,957	4,451	3,678	5,193	3,290	6,845	80,161
	前年度	7,848	9,475	2,888	7,426	16,292	5,086	6,472	4,273	3,851	4,242	1,957	6,285	76,095
	前々年度	6,298	10,208	2,550	7,681	20,628	6,418	6,105	5,647	3,258	9,154	2,926	6,576	87,449

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレドシター	吉野川めぐり	常設展示	プラネタリウム	イベント広場	計
	24年度	3,145	28,662	35,578	12,641	135	80,161
	前年度	3,090	26,304	34,085	12,508	108	76,095
	前々年度	3,576	28,273	43,087	12,474	39	87,449

5 収支の状況

(単位：千円)

	項目	平成 2 4 年度	平成 2 3 年度 (前年度)	平成 2 2 年度 (前々年度)
収 入	指定管理料	637,218	637,366	652,575
	利用料金収入		0	0
	事業収入	15,576	15,638	22,388
	その他	6,000	3,445	14,409
	計	658,794	656,449	689,372
支 出	人件費	140,150	130,461	112,957
	管理運営費	456,036	463,914	516,449
	事業費			
	その他	54,675	51,265	46,689
	計	650,861	645,640	676,095
	収支	7,933	10,809	13,277

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	過去5年間の経費支出の再点検に重点をおき、固定費の削減や各部署で効果的・効率的な経費の執行を行った。 長期的視点で自発的・積極的に行動できる職員配置が効果的であると考え、契約社員を正社員化するなど雇用の安定化を図った。 遊具や展示物の修繕、イベント造作物の製作等を環境推進グループ職員が対応することにより、経費の削減を図った。
サービス向上の取組	・環境と健康をテーマに第4回「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を開催。 ・地元有名連による阿波踊り「阿波おどり in あすたむらんど」を芝生広場にて実施。 ・学校の春休み、夏休み期間中及び年末年始等の休園日を臨時開園。利用者のニーズに合わせて弾力的な運営を行った。 ・四季彩館の利用促進を図るため「七夕を飾ろう」や多目的ホールにおいて夏休み期間中には幼児対象のわくわくキッズルームを設置。 ・「あすたむらんど宝さがし」や「親子で挑戦スタンプラリー」等、利用者参加型のイベントを随時実施。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「木の目」イベントの開催</li> <li>・「ファミリーふれあいフェスティバル」「あいあいフェスティバル」の開催</li> <li>・「ボディジュエリー体験」「手作りジェルキャンドル」を実施</li> <li>・「ドラえもん科学みらい展」を実施</li> </ul>
----------	--

## 8 管理運営業務に係る点検・評価

項目	評価	点検結果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	来園者に対するアンケート調査を実施し、その結果をサービス向上委員会に諮り、利用者ニーズへの適切な対応が図られている。 大型商業施設やサービスエリア等において、県内外に対し宣伝活動を行い、施設の利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・備用品等の適正な管理	A	遊具や展示物の修繕、イベント造作物の製作など極力職員自らが対応している。 修繕等年次計画に基づき適正な維持管理がなされている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	利用者サービス向上への取り組みを積極的に行った結果、入園者数、使用料収入ともに目標数値を上回った。 備品の大量購入、照明の間引き点灯、LED化等、コスト削減に取り組んでいる。 外部委託スタッフとは、常に職員との連携を密にし、ともに利用者サービス向上に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	出勤簿により、職員が適正に配置されることが確認できた。 防災訓練、人権問題研修、接遇研修等の職員研修にも積極的に取り組んでいる。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 適切に休日が確保されており、超過勤務についても、命令簿により適切に管理されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	職員・スタッフのほとんどを地元採用している。 業務委託については地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	地元自治体や企業で組織される「あさん夢づくり会議」で、環境と健康をテーマに「あさんウォーキングフェスタinいたの」を開催した。

項目	評価	点検結果
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	事故発生時などの緊急連絡体制が整備されている。また、事故などが発生した場合には、瑕疵の有無にかかわらず、社内で周知報告がなされている。 防災マニュアルが整備されており、防災訓練の実施等により職員教育がなされている。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	エコアクション21の認証を受けるなど、積極的に環境への配慮のための取り組みを行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行われている。 情報公開に関する規程を整備している。
総合評価	A	今年度は、入園者数、使用料収入ともに前年度を上回る結果となっており、概ね協定書の内容どおり、適切な管理運営が行われていることが確認できた。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

開園以来10年以上経過し、施設・遊具などの老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。

利用者が求めているサービスを分析し、その結果を反映させた施設づくりやイベントを行い、「快適・創造空間」としての更に完成度の高い施設の管理運営を目指す。